

山岳友の会会報

2024年10月 第53号



ススキ揺れる 鹿島槍スキ一場 撮影：荻野 秀夫

も く じ

- | | | | |
|------------------|-----|--------|--------|
| 第71回現地研修会（日光白根山） | 報 告 | 小林 久雄 |2 |
| 第70回記念現地研修会（荒船山） | 報告2 | 塩沢 乃武行 |3 |

第71回現地研修会報告【日光東照宮と白根山敗退】

小林 久雄

迷走の台風10号は奄美や九州まで西に進み、九州を横断し、瀬戸内海から今度は南下して四国は足摺岬の沖で東へ、のろのろと自民党総裁選や立民党の代表選をあざ笑うかの様に日本中を巻き込み大騒ぎの中、第71回現地研修会を実施しました。

折しも二百十日の直前なので好天は無理な時期ですが...研修会を決行しました。

参加は15名でしたが、出発前に早速のアクシデントが発生、滝沢さんが日程を1日間遅れて寝坊し、1時間越えの遅刻に只々謝罪するのみ。他の皆さんは松本駅アルプス口で2度のトイレタイムとなり、ご迷惑をお掛けしました。

ドライバーさんにも謝罪。何とか無事に出発出来たのですが、東御から参加の3人には待ちぼうけを食わせてしまってゴメンなさい。



何度も謝罪の滝沢さんに、「いいから飲みなさい、悪いのはひさおだ。」と教授（陰の声：滝沢さんが自宅から駅に直接来ていれば、30分遅れで済んだのに、久雄さんの家まで迎えに行ったりするので、渋滞もあり1時間半もの遅れになったのです。）。



その後、バスの中ではすっかり宴会となり、最高潮モードで日光へ一路まっしぐら。ドライバーさんの頑張りで、何とか昼食の時間に日光カステラ本舗に到着。なんでも長崎出島のオランダ交易の縁で、日光にカステラがもたらされたとのこと。昼食で頂いた栗おこわ御膳は湯葉つきで、とても美味でした。

令和2年に修復された日光東照宮では、雨も何とか降らずに、名ガイドとともに急な石段を元気に登りました。サルの彫刻など見事な東照宮は、見ごたえ抜群でした。



予定通りに今夜の宿「休暇村日光湯元」に到着。温泉に入って、夜の宴会に備えます（陰の声：遅れのため華厳の滝には行けず。）。



流石に見事なお料理とサラダやスイーツのバイキングで、バス中の宴会も忘れて、またまた満喫しました。

バスの中で盛り上がったのは、特に今回は礼文に続いてご参加の渡邊夫妻。

勅使河原さんから始まったオール電化のお話では、なんでも「かかあ天下」あつての渡邊家のオール電化らしく、発電所のCO₂削減なども有り、「か

かあ天下」有っての『オール電化』と大盛り上がり、今回のクリーンヒットとなりました。大谷選手にも負けないヒットでした。

外は台風の影響で雨でしたが....明日に期待しましょう。

翌朝、露天風呂に出掛けてみましたが、雨は降ったり止んだりメインの白根山登山は何とも.....無理そう。

ロープウェイの運行を確認して、まずは山頂目指して登ったのですが.....、案の定 2000m の山頂は雨の中で、山容がわずかにガスの晴れ間にぼんやりと確認出来る状況で登山を断念。見事に敗退しました。



帰路には群馬県川場村の道の駅 川場田園プラザで各々がラーメンにイタリアン、おにぎりにお蕎麦、スイーツと愉しみました。何でも世田谷区から高級車で野菜など買い物にくるとか？大きな道の駅でした。



【 謝 罪 】

電話をもらうまで日程は明日と思って熟睡。ホントにごめんなさい。悪いのは私です。準備して、車には乗せてあったのですが.....、翌日だと思い込んでいました。本当にごめんなさい。謝罪します。ゴメン。

滝沢義夫

第 70 回 荒船山現地研修（6/20～21）に参加して

— 第 70 回記念現地研修会報告 その 2 —

塩沢 乃武行

私の生まれは長野県小県郡塩田町（現在の上田市）、中学校のころ下校時には必ず『独鈷山』が視線に入り、自宅方向に歩み進めばおのずと『荒船山』が見えていました。幼少のころから目にしていた『荒船山』に登山するとは思ってもみませんでした。

その名の通り船の形をしたこの山に、内山峠側駐車場から 1400m ほどの標高を急登し、南北およそ 2000m を多少のアップダウンを繰り返しながら横移動するコースは、内山峠側や下仁田側を見下ろしながら移動する道であり、心地よくもありました。

山頂からの景色を眺め、鉢巖（修剣道場跡）を経て相沢登山口に降り立ち、『舌切雀のお宿 ホテル磯部ガーデン』に宿をとりました。

『荒船山』の登り下りの大変さは有るものの、山頂からの景色やお花畑（クリンソウ）の平坦地を見ることで、大変さを癒してくれる気がしました。

翌日 2 日目は雨模様となり『一之宮貫神社』『妙義神社』『妙義山中之巖神社』を経て、横川駅最寄りのおぎのやで『釜めし』の昼食を取り、帰路へと進みました。



信州大学山岳友の会会報 第 53 号
発行日：2024 年 10 月 17 日
発行：信州大学山岳友の会
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
信州大学山岳友の会事務局
TEL：0263-37-3332
FAX：0263-37-2438
E-mail：suims@shinshu-u.ac.jp